

平成26年12月15日（月）
国土交通省関東地方整備局

記者発表資料

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成26年度第7回）の開催結果について

関東地方整備局では、平成26年12月12日に、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価監視委員会を開催しましたので、審議結果をお知らせします。

審議の結果、8件が対応方針（原案）のとおり了承されました。

なお、議事概要は、別紙のとおりです。

※配付資料については、関東地方整備局ホームページでご覧下さい。

関東地方整備局ホームページ(<http://www.ktr.mlit.go.jp/>) →募集・情報公開→公共事業の評価

URLダイレクト入力の場合 <http://www.ktr.mlit.go.jp/shihon/index00000018.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川建設記者会、
茨城県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会、
千葉県政記者会、都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、
山梨県政記者クラブ、横浜海事記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 TEL. 048-601-3151（代表）

企画部技術企画官 まつやま 松山 おさむ 治（内線3126）

企画部 企画課 課長補佐 たかはし 高橋 いわお 岩夫（内線3153）

(別紙)

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成26年度第7回）

議事概要

1. 日 時 平成26年12月12日（金）14:00～17:00
2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 「災害対策本部室」
3. 出席者

[委員長]

家田 仁（東京大学・政策研究大学院大学教授）

[委員]

朝香 博（東京商工会議所地域振興部長）

大野 栄治（名城大学都市情報学部教授）

楓 千里（(株)JTBパブリッシング 執行役員ソリューション事業本部副本部長）

蟹澤 宏剛（芝浦工業大学工学部建築工学科教授）

佐々木 淳（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）

清水 義彦（群馬大学大学院理工学府教授）

鈴木 誠（東京農業大学地域環境科学部造園科学科教授）

堤 マサエ（敦賀市立看護大学教授）

若松 加寿江（関東学院大学理工学部教授）

（敬称略、五十音順）

[関東地方整備局]

局長 越智、副局長 下司、副局長 藤井、総務部長 住本、

企画部長 五道、河川部長 泊、道路部長 後藤、港湾空港部長 松永、

営繕部長 尾崎、用地部長 笹川 他

4. 議事概要

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局長

(2) 審議

1) 再評価対象事業の概要説明

- ・ 河川事業 2 件、道路事業 5 件、港湾事業 1 件の概要説明。

2) 審議

- ・ 事務局より説明された再評価対応方針（原案）は、8 件を対応方針（原案）のとおり、了承する。

<評価対象事業>

事業名	重点案件	事業箇所名	事業主体	対応方針 (原案)	審議結果
河川		利根川・江戸川直轄河川改修事業 (稲戸井調節池)	関東地方整備局	継続	対応方針(原案) のとおり了承
		江戸川特定構造物改築事業(行徳 可動堰改築)	関東地方整備局	継続	対応方針(原案) のとおり了承
道路		一般国道 17 号 新大宮バイパス	関東地方整備局	継続	対応方針(原案) のとおり了承
		一般国道 17 号 与野大宮道路	関東地方整備局	継続	対応方針(原案) のとおり了承
		一般国道 17 号 本庄道路	関東地方整備局	継続	対応方針(原案) のとおり了承
	○	一般国道 17 号 上尾道路	関東地方整備局	継続	対応方針(原案) のとおり了承
		中部横断自動車道 富沢～六郷	関東地方整備局	継続	対応方針(原案) のとおり了承
港湾	○	横浜港南本牧ふ頭地区国際海上 コンテナターミナル整備事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案) のとおり了承

○：特に重点的な審議を要する案件として選定された事業

<委員からの主な意見等>

(道路事業)

- ・ 中部横断自動車道 富沢～六郷について、対応方針（原案）のとおり了承する。
ただし、事業費の精査が完了次第、速やかに次回再評価を実施すること。